

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム 派遣研究報告書

2010 年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	中村 優希	（ 西洋史学 ）
-------------	-------	----------

下記のとおり報告します。

記

研究テーマ	1920～30年代におけるアメリカ・インディアン改革にみる多元的統合論 —ジョン・コリアの教育理念を中心に—
-------	---

派遣期間

2010 年 9 月 2 日 ～ 2010 年 9 月 13 日

	国	都市	訪問機関	受入研究者
訪問研究機関	アメリカ合衆国	ワシントン D.C.	アメリカ議会図書館	なし

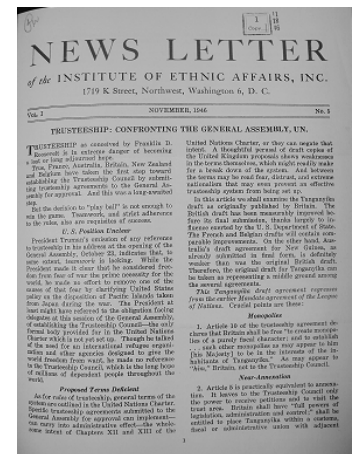
派遣先で実施した研究内容

筆者の研究テーマは、1920年代から30年代のインディアン改革をとおして、アメリカにおける統合理論を考察することである。より具体的には、1920年代においては先住民の境遇改善を訴える運動家として、30年代にはニューディール政府における内務省インディアン局長の局長として活動した、ジョン・コリアに着目している。そして、コリアが行った先住民教育改革をとおして、どのように先住民をアメリカ国民国家に取り込もうとしていたのかを考察したいと考えている。

さて、今回収集した史料は、雑誌2点（Indians at Works, News Letter）とマイクロフィルム1点（Native Americans and the New Deal）である。雑誌2点についてはメインリーディングルームを使って、コピーをとるか写真撮影をした。Indians at Works はコリアがインディアン局長時代に発行していた雑誌である。月2回発行され、毎回コリアが書いた記事が載せられている。News Letter はコリアがインディアン局長退任後、設立した Institute of Ethnic Affairs の機関紙である。ここにも、コリアの投稿がしばしばみられる。今回のプログラムに応募したのは、これらの史料を閲覧することにより詳細にコリアの思想を分析できるのではないかと考えていたからであった。

しかし、これらのみならずコリアにかんするマイクロフィルムを閲覧することもできた。このマイクロフィルムはインディアン局長時代のコリアのメモや手紙などを中心にした文書集である。これは、国立公文書館にあるインディアン局関係の史料である Record of the Bureau of Indian Affairs（Record Group 75）のコレクションの一部をマイクロフィルム化したものであり、マニユスクリプト・リーディングルームに所蔵されていた。マイクロフィルムのリールは全部で18とかなりの量があり、すべてをPDF化して持ち帰ることはできなかったが、研究との関連が深い“education”と“school”という項目で絞り込み、PDF化して持ち帰ることができた。これは、筆者にとって予想外の収穫であった。

また、今回のプログラムでは個人的な研究という側面のみならず、古文書の扱い方やアメリカ議会図書館の利



News Letter 1946.11

用法について学ぶことができた。今後史料調査をするにあたってスムーズに史料調査を進めることができるであろう。さらには、アメリカ議会図書館で活躍する日本人スタッフの方々やアメリカで暮らす日本人の方との交流などもすることができたことも貴重な体験であった。

研究の当初の目的・計画の達成状況、明らかにできた成果

研究の当初の目的は、本プログラムをとおして収集した史料から、ジョン・コリアが教育のなかで先住民の統合をどのようにとらえていたのかを考察し、ジョン・コリアの教育についての思想が明らかにするということがあった。

今回、収集した史料3点については現在読み進めているところである。現時点の状況では、雑誌2点からは教育改革にとどまらず、先住民改革にかんするコリアの構想が書かれており、統合理論という点からも考察ができるのではないかと考えている。また、マイクロフィルムではインディアン局教育担当との議論の様子や予算の状況を知ることができる史料が含まれていた。これらから、コリアの教育にたいする考えはもちろんのこと、実際の教育改革を裏付けることができると考えられる。

今後はこれらの史料を読み進めることで、より具体的にコリアの思想を明らかにしていきたい。

派遣後の研究発表の予定

修士論文で活用する予定である。